

トピックス

■京都タワー開業以来最大の改装！！「京都タワーサンド」オープン

4月14日、全面改装が行われていた京都タワーの地下1階から地上2階までのフロアが「京都タワーサンド」(京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町)として開業した。京都タワーは1964年に開業。多くの観光客が利用するJR京都駅前の集客力を生かすため、運営する京阪ホテルズ&リゾート(下京区)と京阪流通システムズ(大阪市)が過去最大規模の改装を実施。名称も、京都駅と古都の街、市民や観光客を結びつける「参道」になぞらえ、「京都タワーサンド」とした。

地下1階の「フードホール」には、地元で人気を集める中華料理店や焼き肉店の新店舗をはじめ、地酒やビールを楽しむバル、立ち飲みバーなど19店舗が出店。大人の女性をターゲットにした1階の「マーケット」は、地元の有名洋菓子店や京都の素材にこだわった化粧品店など31店舗が出店。2階フロアでは和菓子作りや寿司の握り方を体験できる。

多くの店舗が商業施設で初出店(『京の焼肉処 弘』『かつら』など)。京都タワーサンドの渡邊恭平館長は「京都通の観光客から地元住民にまで楽しんでもらえる京都の新名所になりたい」としている。

■USJ「ミニオン・パーク」オープン

4月21日、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ、大阪市)で、新エリアの「ミニオン・パーク」がオープンした。乗り物のアトラクション「ミニオン・ハチャメチャ・ライド」などが体験できる。開幕を控えた19日のオープニングセレモニーでは、招待客約1,500人がミニオンの仮装で会場を盛り上げた。

ミニオンは、米国のアニメ映画「怪盗グルー」シリーズに出てくるバナナが好物のキャラクターである。グルーが発明したという設定の乗り物アクションは、巨大なスクリーンに映し出された物語に従って揺れ動く仕掛けで、家族でも楽しめるようになっている。また、ミニオンたちが参加するストリートショーやミニオンのグッズを売る店などもある。

約100億円かけて完成した「ミニオン・パーク」は、2001年のUSJ開業から2016年まで親しまれたアトラクション「バック・トゥ・ザ・フューチャー・ザ・ライド」の跡地にできた。USJは2016年度の入園者数が1,460万人と、3年連続で過去最多を更新。「ミニオン」のほか、様々なイベント『エクスpekt・パトローナム・ナイト・ショー』(2017年4月21~11月5日)『ドラゴンボール・ザ・リアル』(2017年6月30日~10月1日)などを通じて、さらなる集客を目指す考えである。

■【大阪・キタ】新たなランドランドマーク フェスティバルシティが街開き

4月17日、高さ200メートルのツインタワーで構成されたフェスティバルシティ(大阪市北区)が街開きし、中之島の新たなランドマークとして第一歩を踏み出した。朝日新聞社などが中之島再生へ向け、10年越しのプロジェクトを進めてきた。開業早々から地下レストラン街で長い行列ができるなど、幸先の良いスタートとなった。

街開き記念式典で、曾根宏司朝日新聞社大阪中之島プロジェクト室長が挨拶し、「計画発表の2007年以来、社運をかけた大プロジェクトだった。メディア企業としてまちを盛り上げ、クリエイティブが生まれるまちを目指して、情報発信していきたい」と話した。

フェスティバルシティは先行開業していた中之島フェスティバルタワー(東棟)と、新たに完成した中之島フェスティバルタワー・ウエスト(西棟)のツインタワーで構成されている。フェスティバルシティの屋間人口は1万2,000人で、経済・文化の拠点として創造的な発信をできるエリアを目指す。

中之島フェスティバルタワー・ウエストは地上41階、地下4階。地階でつながるツインタワーの2階から地下1階が商業施設「フェスティバルプラザ」で、両タワー含めて49店舗が17日全面オープンした。6階から31階はオフィスフロアで、順次入居が進む。33階から40階では、高級ホテル「コンラッド大阪」が6月9日開業予定。4階には2018年春、中之島香雪美術館が開館する。

■関西鉄道各社、ホームドア設置を進める

関西の鉄道各社が主要駅でホームドアの設置を進めている。JR西日本が大阪駅で4月22日に初めて導入するほか、近畿日本鉄道などの私鉄各社も相次ぎ配備する。首都圏と比べて関西ではホームドアの設置が遅れていたが、利用者の安全対策を充実させ、線路への転落事故を回避して鉄道の円滑な運行を確保する。

JR西日本が大阪駅の神戸線ホームに設置するのは扉が左右に動いて開くタイプ。約3億円を投じて尼崎方面のホームに設ける。その後は京都方面のホームにも設置する。

南海電気鉄道も2018年度中に難波駅高野線のホームの一部で2両分設置する。阪急は十三駅の宝塚線と京都線ホームに2019年春までに導入する。阪神電気鉄道は梅田駅で2022年度までに配備する。

各社はホームでの安全対策を強化しており、JR西日本はホームドア設置などで2017年度までの5年間で人身障害事故を3割減らす目標を掲げている。

国交省によると、全国約9,500駅のうちホームドア設置済みの駅は2015年度末時点で665駅(約7%)。このうち関西は95駅にとどまる。



2階



1階



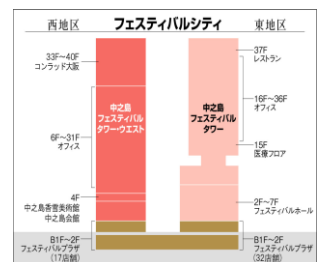
地下1階



「ミニオン・パーク」オープニングセレモニー



中之島フェスティバルタワー・ウエスト(左)・中之島フェスティバルタワー(右)とともに「フェスティバルシティ」を形成する。



階層図



▲JR大阪駅神戸線ホームドア(閉)